

(様式2(1))

事業所名 カルム箕谷

## 目標達成計画

作成日: 平成 31年 3月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1-1	開設当初からの理念を継続している。地域密着型サービスを前提に置いた理念になっているか。職員一人ひとりが理念に基づいた心構えや意義、役割をもって介護に当たっているか。	・基本理念の意義や役割をチームで考える。 ・理念に基づいたケアに当たる。	斜めがけ名札の裏側に理念をセットし、時間の空いたときに読む。 理念についてチームで検討、定着させる場を定期的(1回/月のミーティング)に持つ。	6ヶ月
2	2-2	地域との関わりが薄くなっている。施設でこれといった催し等が無く、足を運んでいただくことが減っている。 地域の方々に来ていただける場の提供が必要。	・地域の方々に足を運んでいただく場を検討、企画する。	庭の手入れや話し相手として地域のボランティアを募る。市や運営推進会議に出席していただいている民生委員から情報をいただく。認知症を地域の方に理解してもらえような場を意見を出し合って考える。	12ヶ月
3	8-7	権利擁護に関する制度について職員の認知度が低い。今後の見通しとして、後見人制度を活用の方が入所される可能性が増えると予想される中、制度の理解を深め準備しておきたい。	・研修を受講しフィードバックしてチームで共有する。	権利擁護に関する資料を集め、回覧や勉強会を行い、職員一人ひとりの知識を深める。 外部、内部の研修を受講する。	12ヶ月
4	49-22	外出の機会は少なくはないが、容易に外出できる方の頻度がどうしても多くなってしまふ。外出はしてもどんな感じだったかの報告ができていない。ご家族は施設での様子を職員に聞きづらいかもしれないのでこちらから発信すべき。	・楽しく過ごされている様子をご家族に発信する。	ご家族に毎月お送りしている写真付きハガキに外出時の写真を優先的に掲載する。家族会、運営推進会議のスライドショーでの報告で、外出時の写真やエピソードを紹介する。 外出の年間スケジュールを立てる。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。